（同二二、一一生、宮城、菊池定治三女）及其子女を伴ひ分家せり（東京市外入新井町新井宿二一五五電大森一一一九）

永峰清三郎　千代田工業（株）代表取締役　東京府在籍

父　清次郎　文久元、一一生、現戸主
母　とみ　萬延元、二生、東京、神戸金次郎妹
妻　はな　明一八、八生、東京、大久保吉太郎妹
女　まさ　明四三、四生

君は東京府人永峰清次郎の長男にして明治十五年七月を以て生る現時千代田工業會社代表取締役たり家族は尚三女清子（大四、八生）四女すえ（同七、一生）五女朋子（同一一、八生）弟兼松（明一七、一一生）同妻うめ（同二五、一一生、東京、關口彌兵衛妹）及其一女妹うた（同二八、二生）同夫忠三（同二〇、一一生、東京、羽室彌吉弟）及其子女弟春之助（同三三、九生）あり妹あさ（同二四、七生）は東京府人小林末次郎に嫁し弟孝雄（同三一、一生）は分家し妹マッヱ（同三八、一〇生）は東京府人高木邦太郎の養子となれり（東京、下谷、上根岸町五二）

永峰秀樹　資産家　靜岡縣士族

妻　きさ　安政三、一一生、愛媛、士、武田敬道妹
男　春樹　明一二、一生
婦　初賀　明二三、一二生、長男春樹妻、滋士、武笠清太郎長女

君は山梨縣士族小野直仙の二男にして嘉永元年六月を以て生れ後舊幕臣永峰良吉の死跡を相續す資産家として知らる家族は尚孫正樹（明四五、一生、長男春樹長男）同直樹（大三、一〇生、同二男）同マキ（同六、三生、同長女）同元（同一〇、二生、同二女）同福（同一二、一〇生、同三女）同德（同一五、五生、同四女）あり長女きん（明六、六生）は熊本縣士族池邊吉太郎に二女有樂（同一四、一生）は東京府人竹内重利に嫁せり（東京、赤坂、臺町六一）

參照＝竹内重利、武笠清太郎※河上春生の項

永村清　正五位勳三等、海軍造船少將、海軍艦政本部第三部長、熊本縣士族

妻　佐江　明二一、四生、京都、士、松田就正四女
男　宗　明四一、一〇生

君は熊本縣士族永村數太の三男にして明治十一年十月を以て生れ同二十八年家督を相續す同三十七年東京帝國大學工科大學造船科を卒業し海軍に入り同年海軍造船中技士に任じ大正十四年造船少將に累進す其間英國に出張し吳海軍工廠檢査官造船監督官横須賀海軍工廠造船部員同工廠總務部員吳横須賀各海軍工廠造船部長兼海軍技手養成所長等に歴補し現時前記の官職にあり家族は尚二男明（明四四、一二生）三男進（大二、一生）五男登（同六、一一生）あり（海軍艦政本部内）

永守兵太郎　永守銀行（株）頭取　富山縣在籍

妻　いつ　明四、六生、富山、佐渡養順養妹
男　昇太郎　明三六、五生
女　はな　明四三、三生

君は富山縣人永守利八郎の孫にして慶應三年十月を以て生れ後家督を相續す現時永守銀行頭取たり家族は尚六女かほり（大三、一一生）あり二女よし（明二五、八生）は富山縣人佐藤養順長男順吉に三女やい（同二八、九生）は同縣人岩間尚剛に四女はる（同三四、二生）は同縣人吉田貞信に嫁せり（富山、婦負、四方町）

永安晋次郎　正四位勳二等功五級、豫備海軍主計中將、神戸製鋼所（株）社長　東京府士族

妻　こう　明一五、四生、東京、加藤竹次郎妹
男　日出男　明三九、六生
男　丈夫　明四一、一〇生

君は東京府人小網源太郎の養叔父にして明治六年一月を以て生れ後先代方幹の養子となり同二十六年家督を相續す同三十一年東京帝國大學法科大學を卒業し海軍に入り同三十二年海軍中主計に任じ爾來累進して大正十四年主計中將に任ぜらる其間佐世保造船造兵監督會計官佐世保海軍經理部第一課長同海軍工廠會計部長海軍艦政本部第三課長佐世保鎮守府主計長海軍經理學校長海軍經理局長を歴補し昭和三年豫備役に編入せられ現時神戸製鋼所社長たり曩に英國に出張し昭和二年ジュネーブに遊ぶ家族は尚五男昊（明四三、四生）六男晃（同四五、三生）七男昇（大三、四生）長女靜子（同七、七生）二女華子（同七、七生）あり（東京、牛込、余丁町一〇九電四谷四七〇七）

參照＝小網源太郎の項

永山久平　岡山縣多額納税者、酒造業　岡山縣在籍

妻　美惠　明二三、二生、岡山、横山仲記長女
男　錬一　明四四、一一生
女　惠美　大二、一〇生

君は岡山縣人先代久平の長男にして明治十二年六月を以て生れ同三十八年家督を相續し襲名す酒造業を營み岡山縣多額納税者たり家族は尚三男奇一（大五、五生）三女千鶴（同八、一生）四女美晴（同一二、一生）あり弟久吉（明一四、一二生）は同妻曾與（同一五、三生、岡山、吉福嘉平長女）及其の一男を伴ひ分家せり（岡山、兒島、下津井町）

永山惣太郎　山口縣多額納税者、酒造業　山口縣在籍

妻　ハル　明一〇、四生、山口、廣重兼五郎二女
男　憲一郎　明三〇、三生
婦　フサヨ　明三三、七生、長男憲一郎妻、廣島、荒井柳太郎二女
女　園　大二、九生

君は山口縣人永山橘太郎の男にして明治四年十月を以て生れ同三十五年家督を相續す酒造業を營み縣下の多額納税者たり曩に山口縣參事會員たりし事あり家族は尚二女千野（大六、一生）孫君代（同八、四生、長男憲一郎長女）同國代（同一〇、六生、同二女）同民代（同一三、三生、同三女）あり（山口、厚狹、二俣瀬村）

永山武敏　從三位勳三等功五級、男爵、豫備陸軍歩兵大佐、北海道華族　明一六、一二生、鹿兒島、西田守信長女

妻　コト　明四二、八生
男　敏行　明四〇、一〇生、學習院女學部出身
女　文子　百合子　大二、九生

當家は先代武四郎より家名を揚ぐ武四郎は舊鹿兒島藩士にして故男爵永山盛輝の弟なり明治四年陸軍大尉に